

### オ一次鰹漁場調査並に漁業試験

期 間 1960年11月23日～1月29日  
使用船舶 国南丸 15831号 400P  
調査員 技師 坂 田、 技手 当真

東支那海に於ける鰹はね釣漁業も一時旺盛だったが最近に至り漁況は振わず次第に漁船数も減じつゝあり、琉球に於ては琉球水産会との二、三隻の船が辛うじて操業を続けて来たが、本年は一隻しか従事していない現状である。琉球水産研究所としては鰹漁業は最近充足した新規漁業でもあり又数年前から調査を出て来た事業で之が盛衰は今後の琉球水産に大きな影響を与えるものであることにしオ一回を去る11月23日那覇港を出港広範囲の魚場調査を実施することにした。那も農林廳区504、503、513、514、524、525、536、535、536、536、534、493、以上十漁区を11月28日迄に調査を終え29日帰港した。

#### 漁 況

493、504には魚探にて魚の映像を6ヶ所認めた。  
514、524漁区では操業したが魚群が小さく且つ又餌寸も悪く漁獲の対割にならなかつた魚体も大小混合で450P～500P程度、附近にはフグ(針千本)の大きな群もあり漁況も振わない魚群が散在して一つにかたまつた魚群を発見することが出来なかつた。  
水温も23°位でその水帯も広く従つて魚群も広範囲に群遊しているように観察された。伊れの地区にも魚探によつて魚群の映像を認めることが出来た。  
533、534、533の漁区は水温低下して22°を示し、534と524の間には稍々濃厚な魚群を発見、釣獲試験を実施した。魚体は450P～500P程度、餌付も稍々良好で今後の鰹漁業に明るい見通しがついた。附近には日本漁船が三隻操業して居り一日二千貫程度の漁をして居るとの報告をうけた。従つて今後同方面には急に日本漁船が来航するものと思われる。水温は21.9°程度で水色Ⅱを示して居つた。次に本船の魚探により魚群の映像を認めた位置と漁獲試験位置を示すと次表の通りである。

漁獲試験概況

月日	操業位置	操業状況			水温	水色	使用 漁具	漁獲高	
		開始	終了	作業時間					
11.24	38°22' N 124° ~ 22' E	時 時	17:50	18:35	45分	23°C	I	本 約30	100~80 匁程度の若年魚で群も小さく徐々に釣獲は出来るが撒餌や灯火に落着かない。
同	27° ~ 41' N 124° ~ 25' E	時 時	22:30	00:10	40分	23°C	I	11本 30尾	大群から離散したらしく極く小さな群で漁獲の対象にならない。
11.25	27° ~ 41' N 124° ~ 25' E	時 時	3:00	4:10	1 10分	23°C		10本 25尾	前場所同様
同	28° ~ 03' N 124° ~ 03' E	時 時	18:40	20:40	2時間	22.6°C		12本 50尾	操業中カジキが船側周辺に出現した為群の群は散つてしまった
同	28° ~ 02' E 123° ~ 52' E	時 (26日) 時	23:50	01:30	1 40分	22.6°C	-	14本 15尾	魚群が小さく撒餌や灯火に落着かない。
11.27	27° ~ 47' N 123° ~ 45' E	時 時	20:00	21:00	1時間	21.5°C	-	-	集魚なし
11.28	27° ~ 55' N 123° ~ 14' E	時	01:40	02:15	35分	21.6°C	-	-	集魚なし
同	28° ~ 13' N 123° ~ 16' E	時 時	03:45	05:00	1 15分 ~ 21分	21.6°C		13本 200尾	約獲当初は餌付も徐々に好むと思つたが次第に離散する時間が長くなり0500時頃群の来遊と共に魚獲皆無の状況となった。

才 一 次 自 1960年11月23日  
至 1960年11月29日

魚種	体長	体高	重量	性別	肥度	胃内容物
ゴマサメ	317mm	69mm	575g	-	-	酵素飼料、シロダチ、他消化不明
♀	319	62	495	♀	初熟	アミ酵素飼料、シロダチ、他消化不明
♀	314	68	110	-	-	同上
♀	316	60	495	♀	初熟	同上
♀	320	70	600	-	-	シロダチ酵素飼料、他消化不明
♀	321	68	495	♀	初熟	アミ系、他消化不明

魚 種	体長	体高	重量	性別	熟 度	胃 内 容 物
ゴマサバ	306mm	62.0mm	472g	♀	初 熟	アミ他消化不明
	309	64	470	♀	未 熟	シロダチアミ他不明
	308	61	460	-		シロダチ、他不明
	309	72	540	♀	初 熟	アミシロダチ酵素飼料他消化不明
	342	75	664	♂	♂	シロダチ酵素飼料他消化不明
	306	63	420	♂	未 熟	アミ酵素飼料他不明
	313	65	512	♂	初 熟	アミ他消化不明
	312	63	522	♂	未 熟	アミシロダチ他不明

魚群探知機に依る魚群要素状況

月日	採 集 位 置	採 集 層	表面水深	水色	魚 群			時 刻
					大	中	小	
11.24	28°~12' N	10~20m	23°C	Ⅲ	-	-	小群	12:33
	12 4°~50' N							
	28°~115' N	20~30m	22.9°C	Ⅲ	-	-	/	12:40
	12 4°~52' N							
	28°~10' N	15~25m	23.2°C	Ⅲ	-	中群	-	12:38
	12 4°~53' N							
	28°~00' N	27~33m	23.3°C	Ⅲ	-	-	小群	10:50
	12 5°~00' N	50~68m						
	28°~01' N	55~60m	23.2°C	Ⅲ	-	-	/	11:05
	12 5°~08' N							
	28°~03' N	40~50m	23.0°C	Ⅲ	-	中群	-	11:20
	12 5°~06' N							
	28°~20' N	10~14m	22.9°C	Ⅲ	-	-	小群	14:10
	12 4°~37' N							
	28°~223' N	13~16m	22.9°C	Ⅲ			/	15:00
	12 4°~247' N							
	28°~265' N	5~10m	23.0°C	Ⅲ			/	15:45
	12 4°~245' N							
28°~25' N	13~21m	22.9°C	Ⅲ			/	15:15	
12 4°~27' N								
28°~275' N	13~20m	22.9°C	Ⅲ			/	15:52	
12 4°~23' N								
28°~25' N	12~45m	23.5°C	Ⅲ	大群			15:41	
12 4°~22' N								
28°~51' N	1.7~25m	21.6°C	Ⅲ~Ⅳ		中群		01:41	
12 4°~29' N								
28°~44' N	45~50m	21.7°C	Ⅲ		/		14:31	
12 3°~13' N								
28°~02' N	10~20m	21.5°C	Ⅲ			小群	15:14	
12 3°~17' N								
28°~01' N	30~36m	21.5°C	Ⅳ			/	15:25	
12 3°~125' N								
28°~00' N	40~50m	21.5°C	Ⅲ			/	15:37	
12 3°~11' N								
28°~53' N	15~20m	22°C	Ⅲ~Ⅳ			/	15:25	
12 3°~45' N								
28°~11' N	53~76m	21.8°C	Ⅲ		中群		12:30	
12 4°~10' N								

才二次豊漁実場調査並に漁業試験

期 間 1960年12月8日～12月16日

使用船舶 国 海 丸 15251噸 400HP

調査員 当 真

豊漁実の振興を図らんが為才一次能海は一週間の短期を以つて東支那海農林野区(海区30平方哩)の広範囲に亘る魚場調査を主体として実施して来たが今回は前開左海域を指定し更に魚群の採集に努力し最も魚群の集結せる漁場を特定し棒受網及び網釣漁業に依る漁獲試験を実施することにし、去る12月8日那覇港を出帆して東支那海534区に於て4000<sup>kg</sup>余を水揚げして12月16日泊港に帰港した。

海況漁況

層層と沈滞気味だった東支那海魚場にも先月の中旬から日本鰯船もボツボツ出漁する様になり、今月上旬からは網釣船、巾着船及び延縄船等漁船も増加し534区に集結して同漁場を巡り廻る状況であり其の中心漁場は北緯28°～29° 東経123°～25° 附近で半径10哩以内で各船共採集している模様である水温は11月中、下旬頃迄23℃の高温帯が概強く張出し同年より4℃内外の異相が現れたが12月上、中旬に入り暖水の勢力が衰えたと見え大陸沿岸水の突込りが大きく、水温も20～21°と昔々平年並となり魚群も集結し始め漁況もこれから盛況を呈するものと推量される。

尚採集上から観察した漁況を示せば次表の通りである。

(1) 棒受網

月日	採集区域	網使用状況			投網回数	水温水色	漁獲
		開始	終了	所要時			
12.10	N 28° ~ 03' E 123° ~ 23'	0200	0400	2時間	2	20.5 IV	約300K
"	N 28° ~ 17.5' E 123° ~ 25'	2020	2215	1時間55分	2	"	#1000I
11	N 28° ~ 05' E 123° ~ 27.5'	2030	2210	1時間40分	2	20.5 IV	#2000I

漁況 1灯火や撒餌に誘着きのあつた魚群であるが群が小さい為それぞれ2回目の漁獲後魚群は、稀薄となり以後漁獲の対象にならなかつた。

2 稀々大きい魚群で網釣でも餌付良好の方が棒受網にて2回捕獲後、魚群も少々減つたが撒餌や灯火に誘着かなくなり網釣に転じたが喰付きも次第に悪くなつていった。

(2) 網釣

今回は棒受網を主体としたので、網釣は採集してから灯火に誘着く迄の寸時間しか採集していないので、甚3日間で約700K位釣獲した。

魚探機に依る魚群探知状況

月日	探知位置	探知層	表面 水温水色	魚群の状況			時刻
				大	中	小	
12 9	27° - 40'5" N	60-75 #	Ⅲ 20.6°C	大	中群		1205
"	28° - 35'5" E						
"	27° - 41'5" N	50-80 #	#				1205
"	28° - 45' E						
"	27° - 45' N	70-75 #	#				1300
"	28° - 50' E						
"	27° - 41'5" N	25-35 #	Ⅲ 20°C			小	1555
"	28° - 47' E		Ⅲ 20°C				
"	28° - 20'6" N	10-37 #	Ⅲ 20.1°C		中	小	1830
10	28° - 35' E		Ⅲ 20.1°C				
"	28° - 22'5" N	25-20 #	#			小	2200
"	28° - 35' E						
11	28° - 27' E	23-35 #	Ⅳ 20.5°C		中		1840
"	28° - 10' N			大			
13	28° - 26'0" E	33-64 #	Ⅳ 20.3°C	大			1815
"	28° - 26' N						
"	28° - 25' E	55-65 #	#		中		1850
"	28° - 25' N						
14	28° - 22'5" N	12-48 #	Ⅳ 20.1°C	大			2050
"	28° - 7'5" N						
15	28° - 21'5" E	5-25 #	Ⅳ 20.0°C	大			035

オニ 次 1960年12月 8日 ) 8日間  
1960年12月16日

魚種	体長	体高	重量	性別	熟度	胃内容物
ゴマサバ	277mm	57	385g	♀	初熟	アミ他消化物
"	268	59	405	不明	-	アミ他消化物
"	340	66	565	不明	-	アミ
"	279	58	385	不明	-	#
"	281	61	400	♀	初熟	#
"	280	61	405	不明	-	アミ 酵素飼料他不明
"	263	58	340	♀	#	アミ # #
"	278	55	370	不明	-	#
"	284	60	400	♀	未熟	#
"	264	54	325	#	未熟	アミ他消化物
"	302	64	495	#	未熟	# #
"	281	57	375	#	-	アミ他不明
"	271	55	365	#	初熟	# #
"	283	57	395	#	未熟	# #
"	265	58	330	#	未熟	アミ、白イカ他消化物
"	285	#	420	♂	未熟	アミ 酵素飼料他消化物
"	261	57	315	#	未熟	アミ他消化物
"	#	56	310	不明	未熟	アミ 酵素飼料他消化物
"	278	58	370	不明	未熟	# #
"	272	57	360	不明	-	アミ白イカ

